

～ 東京で学んだ力を故郷に生かしたい ～
赤坂 竜太郎さん(西予市(旧三瓶町))
赤坂水産 有限会社 1985 年生まれ



☆経営概況☆

魚類（ヒラメ・マダイ）養殖業、いわし・あじ・さば機船船びき網漁業

設立：昭和 63 年、資本金 500 万円、従業員数 17 名（常勤 8 名）、所有船舶 10 隻、大型活魚トラック 2 台

☆ここがポイント☆

■ IT 技術と統計の技術を身に付けて地元へ Uターン

関西の大学・大学院を卒業後、東京の大手保険会社に就職し、資産運用の専門家としての生活を 3 年間経験しました。定年まで東京で働いて東京で家を構えて暮らすという選択肢もありましたが、自分の将来を考えたとき、再び故郷に帰って地元のために働きたいという思いが大きくなり、27 歳の時に Uターンして現場を支える一人となりました。当社で養殖しているヒラメとマダイへの給餌・出荷作業や飼育環境作り、ちりめん漁が主な仕事です。加えて、前の会社で培ったプログラミング技術でパソコン用事務支援ツールを作成し、嬉しいことに、取引先から仕切書が見やすく正確になったと好評を博しました。また、成長データを解析し今後の給餌量を予測することで、計画的で無駄のない餌料購入に繋がりキャッシュフローの安定化に貢献できました。

■ 良い魚を評価してもらえる消費者の元へ

主力であるヒラメは、エサの工夫に加えて水槽内の清潔な飼育環境の維持に細心の注意を払っています。結果として、脂の乗りが良くて味が良いと出荷先では評価されていますが、手間暇かけて育ててもなかなか満足のいく価格は付かないものです。そこで当社では常に他県の相場の情報収集に尽力しており、高く売れる近隣（広島・山口・高知など）の市場や加工場に自社の活魚トラック便でタイミングを逃さず自ら持ち込むという経営戦略をとっています。平成 26 年には、魚市場への安定供給に長年貢献したことに対して広島市長より感謝状を頂きました。

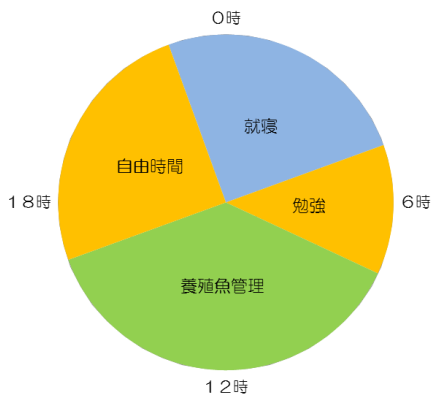


ヒラメの給餌作業



データの入力作業

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

仕事柄、自然あふれる環境の中で適度に体を動かす業務が多いので、体調も良くご飯もおいしく感じます。若干朝の早い仕事ですが、夕方は早めに切り上げて家族サービスに努めます。特に、1歳半になる長女との毎日の散歩は大切な日課となっています。

現在は、**将来の会社経営に役立つであろう資格取得のために早朝の勉強に励んでいます。**

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	← 生産（増加）、出荷に関する業務等（増加） →					↔ 1日休み ↔
【普通期】	← 生産や出荷に関する業務等 →				↔ 午後休み ↔	↔ 1日休み ↔



活魚トラックの前



広島市長からの感謝状

☆これからの夢や目指すもの☆

■地元「西予市」を盛り上げたい！

友人たちの話からは、故郷に帰りたけれど過疎化が進む「西予市」では仕事がないから難しいと感じている人が多いようです。今後「西予市」を盛り上げて行くためにも、地元雇用の受け皿のひとつになれるよう会社の規模を拡大し、**より安定した経営をすることで魅力的な雇用を生み出したい**と考えています。

☆メッセージ☆

■漁業には将来性あり！

近年では、少子高齢化や食生活の多様化などの要因により、日本人の魚離れが進んだとよく言われます。しかし、回転寿司の業界は益々賑わいを見せており、海外においては魚の消費量が年々増大している事からみても、**漁業には必ず将来性があると思っています。**

漁業で収益を上げるには、消費者のニーズに商品を合わせる体制づくりが急務であり、日本の高い養殖技術や鮮度保持技術を生かした高品質な商品を判ってもらえる消費者に品質相当の評価をしてもらえるよう営業努力をしていく必要があると思っています。